

# 各科紹介

## 理容科

先輩方の築き上げてきた、この伝統ある国際理容科をますます盛り上げていきますので、応援宜しくお願いします。



平均年齢とともに、教育への情熱まだまだ上昇中



熱いぞKOKUSAI!! 教育に魂がたっぷりの美容科です!

## 美容科

卒業生のみなさんお元気ですか? KOKUSAIの美容科が恋しくなっている頃では……。近くに来た時は、是非!学校にお立ち寄り下さい。今後もみなさんのご活躍を楽しみにしております!!

## ビジネス美容科

卒業生の皆さんも仕事にも慣れ、悩みが多くなってくると思います。悩んだ時には3号館に足を運びに来て下さい!! 職員一同お待ちしております。



小野もハスキーボイスで毎日頑張っています!!



トークと笑顔とおもてなしを真心込めてお届けします

## 広報部

KOKUSAIの様々な情報を内外に発信しています。是非、卒業生の皆様のご活躍されている姿を取材させてください。また、各業界の情報も併せてご提供いたしますようお願い申し上げます。TEL 03-5810-5931

## KBF 総会・幹事会を開催

2011年5月17日 国際理容美容専門学校第二校舎にて開催しました。



## KBF セミナー開講 「サロンマーケティング」

2011.06.21 ~ 講師 小澤 智子



サロン経営者が伝える現場目線の理美容業に特化したセミナーを開催。



### 編集後記/お知らせ

KBFアヴェニューをご愛顧頂き有難うございます。アヴェニュー 20号を発刊できました。今回も卒業生の活躍をたくさん掲載しました。多種多様な繋がりやきっかけで次に繋がっていく事の大事さを取材や編集に携わり改めて実感させられました。「同じ思いの同志」「新たな思い」「親子の絆」などを紙面より感じ取って頂けたらなと……。また、卒業生やこれから社会人になる在学中の生徒さん、これからKOKUSAIを目指す方にも参考にしてもらいたいです。卒業後に退職してそれっきりじゃなくて、いろいろな係わり方が出来る職業なんです。同行取材で尋ねたSmile Hairさん、缺を製造しているミズタニシザーズさんでは一生懸命に努力し、新たな仕事にチャレンジする卒業生に会ってきました。これからもア

ヴェニューでは、チャレンジしている卒業生を、追いかけます! 「KBFアヴェニュー」次号も発刊予定です。

KBFアヴェニュー 編集長 角金 広喜



左: 宇賀神 (ミズタニシザーズ) 中: 角金 右: 岡 (ミズタニシザーズ)



Smile Hairにて

### お知らせ

会員名簿を作成中です。住所調査にご協力お願いします。 KBF事務局



アヴェニュー vol.20



<http://www.kokusai-riyoubiyou.ac.jp/kbf/index.html>

## CONTENTS

- 2 ● 鈴木校長先生からのメッセージ
- 卒業生のその後 「スタッフは同級生の娘さんです。」
- 卒業生のその後 「復帰してもらいました。」
- 卒業生のその後 「理美容ディーラーで母校の講師です。」
- 3 ● 卒業生のその後 「オーナーもコンテストの覇者です。」
- 卒業生のその後 「缺作り始めました。」
- 4 ● 各科紹介 ● KBFセミナー開講
- KBF総会 ● 編集後記/お知らせ
- 幹事会を開催

**同窓会お知らせ**  
**2012年6月19日(火)**  
**開催予定**



## 「卒業生の皆さんへ」

卒業生の皆さん、ご無沙汰していますがお元気ですか。日本経済は、以前に比べて先行きが不透明な状況が続く、東日本大震災以降は世界的な不況も重なり、日本の政治経済は大きな転機を迎えています。もちろん理容・美容・エステティック業界も、その影響は少なからず受けています。このような時代こそ、個々が必要とする正確な情報をより早く積極的に集めることが出来る環境が必要になってまいりました。海外ではご存知のようにソーシャルネットワークシステム（SNS）「実名交流サイト」が流行り日本でも急速に登録者数も増加しています。より信頼できる情報と積極的なコミュニケーションを願う新たなツールが国を超えて活用する時代になってまいりました。2000年にスタートしてからアヴェニューも卒業生の情報ツールとしてKBF役員のお力添えにより今回で20号目を迎えることができました。これも代田道央会長を始めとする各役員の皆様のお陰と深く感謝申し上げます。アヴェニューは業界で活躍されている卒業生の方々や学校の情報等を網羅した卒業生による会報誌です。在籍する学生生徒にもアヴェニューは配布され先輩の活躍や業界の動きを知るいい機会となり、自己の目標やキャリア形成の生きた教材としても大いに役立っています。

ます。今後も国際理容美容専門学校卒業生による卒業生の情報発信ツールの一つとして、これから業界の仲間に入る後輩のためにも継続されますことを心より願っています。学校でも、新たな取り組みとして、これまで学園新聞「ひぐらし」を発行してまいりましたが、更に国際共立学園の学園テレビを開設することになりました。チャンネル・タイトルは「Channel to ゆう」です。インターネットのUSTREAM（ユーストリーム）から検索していただければ毎週土曜日の午後3時30分よりLIVE放映しています。「Channel to ゆう」の「ゆう」は・・・人と人を結び・・・との意味があります。学園を取巻くさまざまな情報を常に発信し卒業生と学校の結びつきを築けるサイトになることも期待して開設しています。なお、過去に放映した録画も残っていますので是非ご覧ください。次に学校として大きなニュースがあります。それは本校舎の隣に新校舎の5号館を建設している事です。完成予定は2012年2月末の予定となっています。尾久橋通りに面した8階建てで、大変目立ち日暮里には珍しい近代的な建物です。最上階には講演や展示会場になるスペースも計画しています。是非、日暮里駅近くまでお越しの際は、新校舎は勿論各校舎での授業を見学していただければ

国際理容美容専門学校 校長 鈴木政信



幸いです。また、2012年6月19日（火曜日）には大同窓会を開催する計画があると伺っています。是非そのときには大勢の卒業生の皆さんにお会いできることを心から楽しみにしています。結びになりますが、卒業生皆様には益々の健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。また、東日本大震災で被災された方には心からお見舞い申し上げますと共に一日も早い復興をお祈り申し上げ挨拶いたします。

## 卒業生のその後 「スタッフは同級生の娘さんです。」

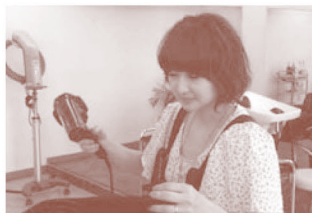
入店まえに一度お店を見学に来ていただいたんですが、その時に笑顔がとってもいい子だなーと思いました。その後お店に面接をしてくださいというTELがあったんですが、その時にはもう僕の中では合格だったんですよ。（笑）ご両親が僕の同級生なんですが、そのことは関係なかったですね。今でもたまに会ったりするんですけど、「仕事においては妥協しないよ」って言う、「ビシビシやってね」と逆に言われてしまいました。実際にお店に入ってから彼女の動きはとてもしばらしく、新人とは思えない程の気の利きようで、早くも先輩達

にその存在感をアピールしています。大事なのはお客様にとって「必要とされるスタッフ」なのかということだと思えます。必要とされるには何をしなければいいのか、強くなるためには何が重要なかをよく考えて働くということも大切だと思っております。今の美容師にはいろいろな部分が要求されています。単純に技術力だけではなく、美容に関する様々な知識だったり、接客力だったりありとあらゆる部分で力をつけていくことが将来性のある美容師になれるということではないでしょうか。これからは、とっても楽しみなスタッフのうちの1人です。



左：冨所 京（みやこ）  
（REIR 勤務）  
美容科 平成23年卒業

右：幕田 和男（REIR オーナー）  
昭和59年卒業



横山（旧姓：武石） 紗登美  
（ヴァンティアン 勤務）  
美容科 平成17年卒業

者だけに接客も上手く、日々、スタイリストデビューを目指し頑張っています。当社には彼女を含め8名の元美容師パートさんがいます。彼女たちを見ていて、改めて美容という仕事の素晴らしさを感じます。

代田 道央（ヴァンティアン オーナー）

## 卒業生のその後 「復帰してもらいました。」

横山（旧姓：武石）紗登美さんは当社に2010年春より勤務しています。きっかけは現在の竹ノ塚店（支店）の店長が当社の採用面接時に「嫁は元美容師です」と言った一言です。「もったいないから復帰させた方がいい」と説得したのが始まりです。最初は本人も自信が無かったようですが、練習熱心な事と努力が実り、今では堂々とアシスタント業務をこなし、重要な戦力となっています。経験

在学中に大門先生の講義を受講し、毛髪科学に興味を持ち美容師を5年経験し、大門先生の研究室に勤務。最初は、知らない事ばかりで、試薬を覚えながら実験データのまとめの毎日。特にキツかったのは、毛髪原毛作りでした。これは、直径0.08mmの髪18cmの長さで正確に2gの毛束を作る作業です。これで試作品を実験します。それによって適正なデータが作れます。（たまに見る雑誌の実験ではここまで正確にいませんよね。でも一回成功するといふ薬剤と思いませんか？）同じ毛束の何万本の中から作るのは大変な苦勞でした。その後、研究室に在籍しながら、メーカーのインストラクターとして全国で講習活動。また先生の死去により、メーカーに入社し、昼は営業と夜は講習と二足のわらじで活動。同時にサロン経営も行い、5年後店長に売却。現在は、理

美容ディーラーとパリ・ミラノコレクションのバックヤードのコーディネーター（去年は美容科、関根先生が担当）と3年前より、本校非常勤講師をさせて頂いております。在学中の夢でもあったコレクションの仕事が時間かかりましたが、現実になり今は、callisteと業務提携ができ、毎年2回コレクションに参加させて頂いております。そこで来年にはKBFでパリ・ミラノコレクションバックヤードの体験ツアーを企画しています。詳しくはKBFホームページで告知します。（11月予定）世界のトップスタイリストを間近で見ただけでなく、スーパーモデルを実際担当します。

参考URL  
<http://www.callisteparis.com/>



左：フレッド（calliste） 中：立花 右：ジャン（calliste）  
立花 正雄  
（有限会社 エアー <http://air-ja-s.com/>）  
昭和61年卒業

## 卒業生のその後 「理美容ディーラーで母校の講師です。」

## 卒業生のその後 「オーナーもコンテストの覇者です。」

☆第2回 全国学生技術大会

☆チャレンジアート部門優勝（金賞）

2010年11月21日（日）沖縄県那覇市民体育館にて開催された、第2回全国学生技術大会のチャレンジアート部門で優勝（金賞）を獲得した柿沼翔太君。卒業し就職したSmile hairさんに石山が尋ねて「あの時の話」を、今の状況（就職後）の事を同期卒業の小野寺さんとアジアカップのチャンピオンでもあるサロンオーナーの吉田さんにインタビューしてきました。



石山：改めて全国大会優勝おめでとございます。すごいですね。

柿沼：ありがとうございます。ただ正直自分では実感がわかなかっただすし、クラスメイトが「すごいわね」と言ってくれて自分自身ではすごいと思いませんでした。そのことよりもみんなで頑張れたことが何よりもの財産です。本当に学校が良い雰囲気でした。

石山：そう感じてもらえてた事がうれしいです。ちなみにどんどこころが？

柿沼：人間的な成長をさせてくれる場所でした。例えば『掃除』や『挨拶』などです。

石山：確かに2年間かけてみんな挨拶や掃除は本当に一生懸命やっていたね。特に柿沼君は。小野寺君もやっていたね（汗）

柿沼：そういう人間的な成長が技術にも反映されたのかなあ。と感じています。そこまで成長させていただいた国際の先生方には本当に感謝しています。

石山：そして、卒業して今に至るわけですが、そもそもなぜ理容を志したのですか？

柿沼：もともと美容に興味があり、国際の体験入学に参加したところ、理容科の先輩方の夢に向かって進む熱い気持ちが伝わり、「自分も先輩方のように輝きたい」そんな想いで志しました。

石山：ありがとうございます。吉田オーナーからそんなお言葉をいただけて私は感無量です。

石山：そんな想いがあり2年間頑張り続けることができたんですね。

柿沼：はい。それと、頑張ることの大切さを教えてくれ、自分を大きく変えてくれたエピソードがあるので紹介させていただきます。

中学生の頃、大好きなサッカーで足に大怪我を負いました。「一生歩けないかもしれない」と宣告され、目の前が真っ暗になり「何で自分だけ」「努力したって無駄」という気持ちで毎日を過ごしていました。今だから笑えますが、

体重も80kgまで膨れ上がったんですよ。ただいつか「このまま人生が終わってもいいの？」と考えるようになりリハビリに励みました。「面倒くさいと思うよりチャレンジだ！」と。結果、今は普通に生活できるようになりリハビリに励みました。「面倒くさいと思うよりチャレンジだ！」と。結果、今は普通に生活できるようになりリハビリに励みました。

この経験から『やってできないことは無い根性』が生まれたので、感謝感謝です。また、1年次の時に担任の先生（高橋先生）から、『目の前の困難は神様がくれたプレゼント』という言葉をいただき、今もそれを励みに頑張っています。

石山：それでは、今回の取材にも快く承諾して頂いた吉田オーナーから見て、まだ入社間もないですが、

柿沼君の印象を教えてください。

吉田：とにかく腹が据わってますね。何かを追求しよう



とする精神力が伝わってきます。そういうような姿勢が、コンテストなどの結果となったのかも知れませんね。

また、1年目だろうが10年目だろうが人間的な成長を遂げてくれます。私の理想とするスタッフ像が、そんな想いを抱き、同じ夢を追い求められる人材です。まさに柿沼君はそんな大切な人材になってもらいたいです。

石山：ありがとうございます。吉田オーナーからそんなお言葉をいただけて私は感無量です。



柿沼 翔太  
（Smile Hair 勤務）  
理容科 平成23年卒業

では最後に同期の小野寺君から見て柿沼君の印象は？  
小野寺：学生時代は普通の友達でしたが、働き始めてからの印象は、何でも自分で求めて行動しているように思えます。また自分と何が違うんだろうなあ、と考えた時に、とにかく柿沼君は周りが見えて、気づき能力が高いです。本当に大人だなあ、と思いつつ一生懸命追いかけています。

石山：では柿沼君から見た小野寺君の印象は？  
柿沼：学生時代は誰よりも器用なのに努力が少なかったように見えました。今は、本気で努力してるし、小野寺君の存在が本当に大きいし、お互いすごく良いライバル関係を築けています。

石山：ありがとうございます。そんな2人の成長が伺えて私は元担任としてとても嬉しいし、これからの更なる成長を期待せずにはられません。

石山：ありがとうございます。そんな2人の成長が伺えて私は元担任としてとても嬉しいし、これからの更なる成長を期待せずにはられません。

インタビュー 理容科 石山



左から：吉田オーナー 柿沼 小野寺 石山

## 卒業生のその後 「鋏作り始めました。」



宇賀神 彬（うがじん あきら）  
（ミズタニシザーズ 勤務）  
美容科II部 平成22年卒業

サロンで働いていたときは、早く上達したいと思いつつ懸命に働いていました。でも、勤務時間も長く給与面でも当時は不安があり転職も考えていました。そんなある時、サロンの先輩が持っていた鋏が、自分が学生の時に使っていたミズタニの鋏だったんです。学生のときは、鋏のことは気にしたことはありませんでした。初めて手づくりで造られていることを知り、興味を持ったのが入社後です。今は鋏を提供する側になって日々努力しています。入社間もない私は、鋏の組み立てや磨きといった簡単な作業をしていますが、自分が携わった鋏をたくさんの方が使ってくれる事にやりがいを感じています。今までサロンや学校で学んだことが、自信につながっていると実感しています。この経験をハサミ造りにも生かしていきたい

と思います。卒業生の皆さん、私たちが作ったミズタニの鋏を使ってください。



BE CREATIVE  
<http://www.mizutani-scissors.com/>